

議事録

【地区センター】

第2回横浜市戸塚区指定管理者選定委員会

- (1) 日 時 平成17年9月29日(木) 9:15~15:30
- (2) 場 所 戸塚地区センター 会議室B
- (3) 出席者 池田委員 石井委員 川俣委員 高野委員 比江島委員 宗像委員
- (4) 傍聴者 有(18人) ※応募団体のプレゼンテーションとヒヤリング

<議事内容>

1 議題(概要)

- (1) 各応募団体のプレゼンテーション
- (2) 各応募団体へのヒヤリング
- (3) 定足数再確認 委員会6名中、6名の全委員が出席、委員会は成立
- (4) 指定管理者の選定
事務局から指定管理者評点表の集計結果を説明、地区センターごとに指定管理者の選定について審議した。

2 (1) ヒヤリングでの主な質問

- ・ハイグレードを求め、地域と遊離することはないか。
- ・個人情報の管理は、具体的にはどのようになっているか。
- ・防犯を意識することで、気軽に利用できるということが損なわれないか。
- ・運営の中で経費が不足した場合は、どのように考えているか。
- ・運営の中でボランティアについてどのように考えているか。
- ・地域の優先利用についてどのように考えているか。
- ・スタッフの質的な向上についてどのように考えているか。
- ・他の施設との連携事業をどのように考えているか。
- ・いくつかのセンターの中で特定のセンターを応募する理由はなにか。
- ・非常時の保険についての考えはどうか。
- ・地域との連携についてどのように考えているか。
- ・現状のサービスにおいて改善点とは具体的には何か。
- ・生涯学習を広げていく場としてその広がりをもっと進めていくか。
- ・利用者のニーズの把握をどのように進めていくか。
- ・今後アピールしていく運営などは何があるか。

(2) 委員意見等

戸塚地区センター

- ・どの応募者の評点もあまり離れていない、それぞれが良い提案をしている。
- ・評点は、委員の意見の結果でもあるので、評点を基本に考えてよいのではないか。
- ・戸塚地区センターは他のセンターと状況は異なり、戸塚の中心で図書館と公会堂も併設している。結果として、戸塚区区民利用施設協会が一番高いが、これま

での実績も運営に活かせるのではないか。

- ・戸塚区区民利用施設協会の評点が低い項目もある。そうした項目を再度工夫するような申し添えはできるのか。
- ・内容を一方的に強制はできないだろうが、協定に際して区との協議で申し入れていくことは可能ではないか。

□ 大正地区センター

- ・地域が行う場合、ハードの面も意識してもらいたい。
- ・地域が経営した場合、地域だけで運営していくことのないように、区でも運営体制を見ていくことは必要ではないか。
- ・地域の状況は把握しているだろうが、閉鎖的にならないようにするなどセンターの管理運営についても十分認識して行っていく必要がある。
- ・地域が管理運営していく場合、難しいところもあるが、それをもって否定することはできない。
- ・地域が主体となって運営していきたいという意欲は評価することができる。
- ・評点の結果を基本としてよいのではないか。

□ 東戸塚地区センター

- ・評点が2位団体の提案は夢があり、施設の管理運営という項目では良い面もあるが、地域性ということではもう少し提案がほしい。
- ・評点が2位団体は、やはり管理ということでは良いが、地域の地区センターだと異なる視点も大切ではないか。
- ・評点が2位団体は、ハードの面では能力が認められるが、地域コミュニティの醸成という点を伸ばしてもらいたい。

□ 上矢部地区センター

- ・共同事業体は、経営の面で難しい点もあるが、地区センターの職員としての実績も活かせるのではないか。
- ・共同事業体は地区センターの管理運営に熱意を感じられるし、今後の管理運営に期待したい部分がある。
- ・泉区の地区センターでは、地域で運営を行っており、共同事業体は泉区とも連携していくという提案も行われている。
- ・共同事業体が管理運営することは、戸塚区の地区センター全体の管理にも良い影響があるのではないか。

□ 舞岡地区センター

- ・評点は、管理経費部分での差となっており、もう一度別の観点で確認していく必要があるのではないか。
- ・評点が第2位団体は、運営部分では大きな差になっていないが、管理経費を下げることができるかはわからない。

- ・評点が第2位団体は、プレゼンテーションにおいても利益を追求はしないということであったが、提案額の管理経費は、会社として必要な経費ということではないか。
- ・現在の運営より、また新しい運営を見てみたい意識はあるが、経費の部分も考えなくてはならない。
- ・ひとつの考えとして、評点の差の捉え方で、補正以上の差があるということもできる。管理能力の高さや地域ニーズの捉え方とともに、効率性をどのようにとらえるかも考えなくてはいけない。
- ・管理経費は提案額であり、管理経費を減額できれば選定できるかということは、どの応募団体にも言えることになってしまう。
- ・施設の管理運営は、総合的に考える必要があり、その評価が評点になっている。
- ・評点が第2位団体は、評点の差はあったが、評点以上に良い内容であったということかもしれない。

3 審議結果

□戸塚地区センター

- ・管理運営費の提案額も区の予定額以内であり、評点の結果通り、優先交渉権者を戸塚区区民利用施設協会、第2位の交渉権者として住友不動産建物サービス株式会社を選定した。

□大正地区センター

- ・管理運営費の提案額は、2団体とも区の予定額を越えているが、提案額も低く、評点の結果通り、優先交渉権者を大正地域の会、第2位の交渉権者として戸塚区区民利用施設協会を選定した。

□東戸塚地区センター

- ・管理運営費の提案額は、2団体とも区の予定額を越えているが、提案額も低く、評点の結果通り、優先交渉権者を戸塚区区民利用施設協会、第2位の交渉権者として住友不動産建物サービス株式会社を選定した。

□上矢部地区センター

- ・管理運営費の提案額は、2団体とも区の予定額を越えているが、提案額も低く、評点の結果通り、優先交渉権者を特定非営利活動法人みんなのまちづくりクラブ・特定非営利活動法人建物ネットワーク、第2位の交渉権者として戸塚区区民利用施設協会を選定した。

□舞岡地区センター

- ・管理運営費の提案額は、2団体とも区の予定額を越えているが、提案額も低く、評点の結果通り、優先交渉権者を戸塚区区民利用施設協会、第2位の交渉権者としてアクティオ株式会社を選定した。

【老人福祉センター横浜市戸塚柏桜荘】

第2回横浜市戸塚柏桜荘指定管理者選定委員会

- (1) 日 時 平成17年9月30日(金) 9:30~11:00
- (2) 場 所 戸塚区役所 4階 3号会議室
- (3) 出席者 池田委員 豊田委員 比江島委員 溝尾委員 矢野委員
- (4) 傍聴者 有(1人) ※応募団体のプレゼンテーションとヒヤリング

<議事内容>

1 議題(概要)

- (1) 応募団体のプレゼンテーション
- (2) 応募団体へのヒヤリング
- (3) 定足数再確認 委員会5名中、5名の委員が出席、委員会は成立
- (4) 指定管理者の選定
事務局から指定管理者応募団体評点の集計結果を説明、指定管理者の選定について審議した。

2 (1) ヒヤリングでの主な質問

- ・今後の運営体制で職員の体制をどのように考えているか。
- ・事業の提案について、事業数、事業内容をどのように捉えているか。
- ・事業を実施するにあたり、実施しただけにはならないか。
- ・地域はもちろんあるが、区の施設としての展開をどのように考えているか。
- ・どのような事業を重点としているか。
- ・地域の施設として館の運営をどのように浸透していくのか。
- ・災害時など、避難場所としての施設の体制の考えはどうか。

(2) 委員意見等

- ・評点の集計結果では、第1位は社会福祉法人朋光会、第2位は企業組合労協センター事業団となるが、再度評点内容等の確認をお願いして指定管理者を選定していきたい。
- ・各委員の評点集計の結果を基本に考えていくことでよいのではないか。
- ・項目で見えていくと朋光会がすべてに上回っているわけではない。
- ・朋光会は、現在戸塚区で展開している実績をみると団体としての洗練度はあるのではないか。
- ・老人福祉センターの趣味の教室などは、単に講座を開催するだけでなく、介護予防とか、デイサービスとの意味合いを考えていく必要がある。
- ・地域性とかみ合いも必要であり、企業組合労協センター事業団も実績を積んでくることで広がりも出てくるだろうが、現状を考えると、またグループで医療もやっていることも朋光会の方が地域で受け入れられるのではないか。
- ・地域住民は、老人福祉センターと他の関連施設とのつながりも期待するところがある。

- ・朋光会の提案は、地域ケアプラザでの地域交流の接点、運営の連携や情報を取り入れていくなどわかりやすく、提案に具体性をもっている。
- ・朋光会は、現在の運営をみても積極的に運営を進めている。
- ・各委員からの意見からも現状の評点を補正していくことはないと考えられる。

3 審議結果

- ・指定管理者応募団体評点の集計結果のとおり、第1位の優先交渉権者は社会福祉法人朋光会、第2位として企業組合労協センター事業団を選定した。